

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	インターンシップ 4
科目基礎情報					
科目番号	5996K04		科目区分	専門 / 選択	
授業形態			単位の種別と単位数	学修単位: 4	
開設学科	専攻科共通		対象学年	専1	
開設期	通年		週時間数	前期:4 後期:4	
教科書/教材	派遣先実習指導者の指示による/派遣先実習指導者の指示による				
担当教員	杉野 隆三郎,杉山 雄樹				
到達目標					
1. 実習機関（企業、研究所、大学等）の状況を把握し、与えられた課題を解決できる。 2. 実習体験を通して実践的・技術的感覚を養うとともに、専攻科での研究目的を明確化できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安
到達目標1	与えられた課題を解決した上で、関連する課題を見つけ出し取り組むことができる。		与えられた課題に適切に対応して、解決できる。		与えられた課題に最低限の対応をし、解決できる。
到達目標2	実践的・技術的感覚を身に付け、専攻科での研究活動と関連付けて応用できる。		実践的・技術的感覚を身に付け、専攻科での研究活動との関係を説明できる。		実践的・技術的感覚を身に付けていない。専攻科での研究活動との関係を説明できない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	国内外の企業、研究所、大学等において専門的実習を行い、実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する能力を養う。				
授業の進め方・方法	【授業時間 180時間】				
注意点	(1) 学生は総実習期間に応じて、インターンシップ1から4のうちいずれかを選択すること。 (2) 企業、研究所等で実習を行うので、特別研究指導教員および派遣先実習指導者の指示に従うこと。原則として、専攻科第1年次の夏季休業期間（インターンシップ期間）に実施する。 (3) 複数箇所を実習を行った場合は、各実習先ごとに発表、レポートを作成する。 (4) インターンシップ期間にインターンシップ以外で余った時間は特別研究に専念すること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週	受け入れ先の調整	受け入れ先の調整と、実習先に提出する履歴書などを作成することができる。	
		6週	受け入れ先の調整	受け入れ先の調整と、実習先に提出する履歴書などを作成することができる。	
		7週	受け入れ先の調整	受け入れ先の調整と、実習先に提出する履歴書などを作成することができる。	
		8週	受け入れ先の調整	受け入れ先の調整と、実習先に提出する履歴書などを作成することができる。	
	2ndQ	9週	ガイダンス、事前打ち合わせ	ガイダンス・事前打ち合わせを通じて (1) 事前に目的を理解し、心構え、社会のルール等を身に付けている。(2) 派遣先の概要と実習内容について理解できている。	
		10週	実習先機関における実習	国内外の企業、研究所、大学等における実習を通じて派遣先の実習指導者のもとで、課題に対して適切に対応できる。	
		11週	実習先機関における実習	国内外の企業、研究所、大学等における実習を通じて派遣先の実習指導者のもとで、課題に対して適切に対応できる。	
		12週	実習先機関における実習	国内外の企業、研究所、大学等における実習を通じて派遣先の実習指導者のもとで、課題に対して適切に対応できる。	
		13週	実習先機関における実習	国内外の企業、研究所、大学等における実習を通じて派遣先の実習指導者のもとで、課題に対して適切に対応できる。	
		14週	実習先機関における実習	国内外の企業、研究所、大学等における実習を通じて派遣先の実習指導者のもとで、課題に対して適切に対応できる。	
		15週	実習先機関における実習	国内外の企業、研究所、大学等における実習を通じて派遣先の実習指導者のもとで、課題に対して適切に対応できる。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	インターンシップ報告書作成、発表準備	インターンシップで得た成果を報告書および口頭発表としてまとめることができる。	
		2週	インターンシップ報告書作成、発表準備	インターンシップで得た成果を報告書および口頭発表としてまとめることができる。	

		3週	インターンシップ報告書作成, 発表準備	インターンシップで得た成果を報告書および口頭発表としてまとめることができる。
		4週	インターンシップ報告書作成, 発表準備	インターンシップで得た成果を報告書および口頭発表としてまとめることができる。
		5週	インターンシップ報告書作成, 発表準備	インターンシップで得た成果を報告書および口頭発表としてまとめることができる。
		6週	インターンシップ報告書作成, 発表準備	インターンシップで得た成果を報告書および口頭発表としてまとめることができる。
		7週	インターンシップ報告会	インターンシップ報告会の発表により、課題の概要とそれに対する解決方法及びインターンシップの総括が行える。
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	0	0	80	20	0	100
基礎的能力	0	0	20	10	0	30
専門的能力	0	0	60	10	0	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0